



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2017.7月号

平成29年度夏期特別展

川原の石の メッセージ

- ひろって学ぶ大地のなりたち -

7月15日(土) ~ 9月10日(日)

石はわたしたちの身近にあって、大昔から暮らしを支えてきた大切なものでありながら、その存在については普段意識されることのない、ありふれた存在です。身近な川の川原に転がる石も、特に注目されることのないもののひとつかもしれません。しかし、そんな川原の石からは、地球や日本列島の成り立ちにも関わる歴史を学ぶことができます。

本展示では、身近な河川にみられる川原の石や、相模川・金目川・酒匂川流域の岩石、化石、鉱物資料などを基に、流域の大地の成り立ちをたどります。地球科学(地学)の入門編として、石とは何か、どのように分類されるかなどの基本的な内容を、地域の資料を使って紹介するとともに、石を見分けるコツや観察に使う道具など、実際に野外で観察するための実践的な情報も紹介します。

夏期特別展 関連事業

夏期特別展に関連して次のような行事を行います。ふるってご参加ください。申込制行事は往復葉書に行事名・希望する回（複数回ある行事の場合）・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、締切日までに博物館までご送付ください（応募多数時抽選）。

【申込制行事】

○「川原の石ころ図鑑をつくろう」

内容：川原の石を拾って、実物を使った石の図鑑を作ります。

日時：7月26日（水）・27日（木）

（2日間とも参加できる方に限ります）

各日午前9時～午後2時

参加：申込制（7月15日（土）当日消印有効）

定員：20名

会場：野外（26日）：博物館1階 科学教室（27日）

○「岩石薄片をつくろう」

日時：①8月17日（木）、②8月20日（日）

各回午後1時～4時

参加：申込制（8月10日（木）当日消印有効）

定員：各回15名

会場：①博物館1階 講堂

②博物館1階 科学教室

【自由参加の行事】

◎特別展展示解説 会場：博物館1階 特別展示室

内容：夏期特別展を学芸員が解説します。

日時：①7月15日（土）、②8月6日（日）、③9月3日（日）

各回午後1時～1時50分

◎「地形模型で地形のでき方を観察しよう」

内容：砂を使った地形模型で、地形ができる様子を観察します。

日時：①7月29日（土）、②8月16日（水）

各回午後1時～1時50分

会場：博物館1階 特別展示室・野外

◎記念講演会（詳細は8月号で）

①「ひろって学ぶ大地のなりたち」

日時：8月12日（土）

講師：野崎 篤（当館学芸員）

②「川原の石から大地の成り立ちを探る」

日時：9月9日（土）

講師：藤岡換太郎氏（神奈川大学）

高橋直樹氏（千葉県立中央博物館）

夏のイブニング・ミュージアム・ウィーク

8月1日（火）～8月6日（日）は入館時間を18時30分まで、開館時間を19時まで延長し、毎夕共通テーマに沿ったイベントを開催します。今夏のテーマは「石のメッセージ」。どんな話が飛び出すかお楽しみに。いずれも参加自由、開催時間は午後6時～6時50分です。

☆8月1日（火） 石が語る太陽系の成り立ち

会場：講堂

内容：太陽系の過去の記憶をとどめる石でできた天体から、太陽系の歴史をひもといてみましょう。

☆8月2日（水） 石碑・石仏に宇宙を探す

会場：講堂

内容：石の碑の中に、天体や星を刻むものがあります。実際の天体との繋がりやそれらを迎えるおもしろさを紹介します。

☆8月3日（木） 川原石の調理実験

会場：科学教室

内容：遺跡から出土する焼けた石ころは、石を使った調理の痕跡という説があります。この説を実際の調理で検証します。

☆8月4日（金） 古生物のダイニングメッセージ

会場：講堂

内容：すでに地上からいなくなった生物たちの生き様を、物言わぬ化石から読み解きます。

☆8月5日（土） 大阪からやってきた石鳥居

会場：講堂

内容：幕末にあらわれる大阪からの石鳥居。この石鳥居の由来をひもときます。

☆8月6日（日） 道祖神のゴロゴロ石

会場：講堂

内容：ゴロゴロ石とは道祖神の周りに置かれた五輪塔の石。これを用いた様々な習俗をもとに、道祖神の実体に迫ります。

寄贈品コーナー「平塚空襲展」

会期：7月15日（土）～8月20日（日）

昭和20（1945）年7月16日午後11時30分ころから約100分間、平塚市はB29爆撃機133機による空襲にさらされました。

この空襲による被害は平塚市のみならず、茅ヶ崎市・大磯町・二宮町・小田原市にも及び、328名以上の方が亡くなりました。

本展示では、被災直後の平塚市のまちの様子を写した米軍の撮影の写真や、空襲体験者自身による空襲体験絵画、平塚に投下された焼夷弾などを展示いたします。

平塚空襲は風化させてはならないまちの記憶です。本展示を戦争と平和を考えるきっかけにいただければ幸いです。



空襲直後の平塚市街（東海道を歩く牛車）

絵本で見る地球

会期 7月21日(金)
～9月10日(日)
会場 2階情報コーナー

毎年恒例、博物館・美術館・中央図書館の3館コラボレーション企画。今年度は3館をめぐってスタンプを押し、オリジナルのブックカバーを作ります！

博物館では、美術館の特別展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展 絵本の50年これまでとこれから」と博物館の夏期特別展「川原の石のメッセージ—ひろって学ぶ大地の成り立ち—」に関連して、地質、地震、岩石・鉱物、気象など、地球科学を扱った絵本とその関連資料を展示します。絵本の一部は自由にご覧いただけます。絵本は子ども向け…と思って侮るなかれ。実は一冊にかなりの情報がつまっています。お子さんはもちろん、大人の方もぜひ手に取ってみてください。

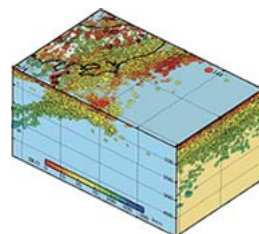


↑博物館のスタンプのひとつ。3館それぞれ2種類ずつ、計6種のスタンプが用意されています。どんな図柄かは各館まわってのお楽しみ。

関連行事

「いつどこで地震が起きたかわかる 震源くんをつくろう」

地震が起きた場所を立体的に見ることができる地震活動立体模型を作ります。
日時：8月3日(木) 午後1時～1時50分 会場：2階情報コーナー前



「どれが一番ゆれやすい？ 共振模型をつくろう」

地震の揺れ方によって、揺れやすいビルの高さが変わります。それがわかる模型を作ります。
日時：8月17日(木) 午後1時～1時50分 会場：2階情報コーナー前

「魚が浮いたり沈んだり 浮沈子をつくろう」

容器を押したり離したりすると中の魚が浮き沈みする浮沈子というおもちゃを作ります。
日時：9月10日(日) 午後1時30分～3時 会場：1階科学教室

※いずれの行事も無料、時間内であればいつでも参加できます。工作にかかる時間は10～15分程度です。

自然教室

「夕方の野鳥を見よう」

夏の夕方、水辺やその周辺には、どんな野鳥たちが来て、何をしているでしょう。野鳥たちの行動の観察を通して、自然について考えてみましょう。

講師：こまたん

日時：7月29日(土) 午後3時30分～午後5時30分

場所：金目川・高麗大橋周辺(桜ヶ丘公園集合)

参加：往復はがきに行事名、住所、氏名、電話番号を記入して7月14日(金)(消印有効)までに博物館へお申込みください。

定員：15人(応募多数時抽選)

備考：雨天中止。小学生以下は保護者が同伴してください



みんなで調べよう

セミのぬけがら調査隊

ひらつか
ちょう さ たい

たい いん ぼ しゅう
隊員募集!!



セミのぬけがらを記録して、平塚市内に生息するセミの種類と分布を調べます。博物館と平岡幼稚園の協働事業です。

調査期間 平成 29 年 (2017 年) 7 月 30 日 (日)
～ 8 月 23 日 (水)

講習会 7 月 30 日 (日) 講堂 (13:00 ～ 15:00)

合同調査 8 月 6 日 (日) 市内 (9:30 ～ 13:00)

まとめ 8 月 23 日 (水) 講堂 (13:00 ～ 15:00)
同定・整理・まとめ

対象 一般 (小学生以下は保護者同伴)

定員 50 名

応募 往復はがきに行事名・氏名・住所・電話番号を記入して
7 月 14 日 (金) (消印有効) までに博物館へ申込

不思議な板で万華鏡を作ろう

不思議な板、というのは偏光板のこと。偏光板とセロハンテープを“適当”に貼りつけたプラスチック板を使って万華鏡を作ります。作れる万華鏡は完全オリジナル、誰のものとも模様が違います。どんな色、模様の万華鏡ができるでしょうか？

日時：8 月 1 日 (火)

①午前 10 時～午前 10 時 45 分

②午前 11 時～午前 11 時 45 分

場所：博物館 1 階 科学教室

参加：当日午前 9 時より受付にて整理券を配布

対象：一般 (小学生未満は保護者同伴)

定員：各回 20 人 (先着順)



自然観察
入門講座

貝化石を調べよう



大磯の海岸には、たくさんの貝化石が入った地層が見られます。みんなで地層から貝化石を掘り出して、どうやってこんな化石ができたかを調べましょう。もしかすると珍しい化石が見つかるかも!?

日時：8 月 10 日 (木) 午前 9 時～午後 3 時 (雨天中止)

場所：大磯町西小磯

対象：小学校 4 年生以上

申込：往復はがきに行事名・住所・氏名、学年、電話番号を記入し、7 月 31 日 (月) (消印有効) までに博物館へ申込

定員：20 人 (応募多数時抽選)

縄文人になろう

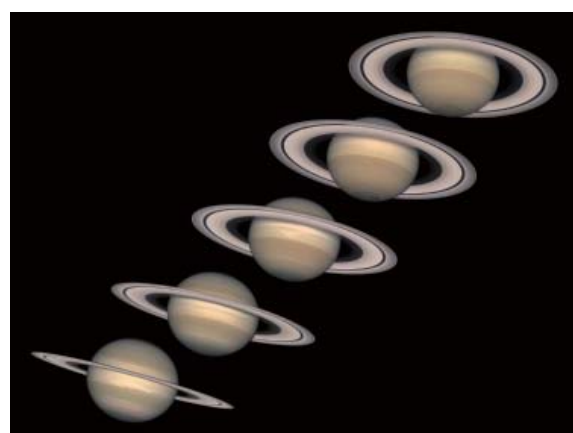
火起こし、弓矢、そして土笛・竹笛の実験を通して縄文人の技術を体験します。全てのミッションをクリアすると、縄文人認定証を差し上げます。

開催日時 8月5日(土) 午前10時～午後4時
場 所 博物館1階 科学教室
参 加 往復はがきに行事名・氏名・住所・電話番号を記入し
博物館へ送付(締切 7月21日(金) 消印有効)
対 象 小学校4年生～中学校3年生
定 員 15人(応募多数時抽選)



今が旬! 「星を見る会」で土星を見よう!

この夏は土星が見ごろを迎えています。土星の環(リング)は毎年少しずつ傾きが変わり、大きく開いたり真横になったりするのですが、今年はここ数十年で最も環が開いて見える年なのです。そのため環が見やすく、立派な姿を見ることができます。同じように環が開いて見えるのは15年先になってしまいますので、ぜひ今年の夏は博物館の星を見る会に参加して、土星の壮大な姿を見てみましょう!テーマに関わらず、下記すべての星を見る会で晴れていれば土星を見ることができます。



ハッブル宇宙望遠鏡が捉えた土星の環の変化
今年は右上のような姿に見える。

NASA and The Hubble Heritage Team (STScI/AURA)
Acknowledgment: R.G. French (Wellesley College), J. Cuzzi (NASA/Ames), L. Dones (SwRI), and J. Lissauer (NASA/Ames)

○ 7月27日(木)「七夕の星を見よう」

○ 8月3日(木)「月と土星を見よう」

○ 8月17日(木)「土星と夏の星を見よう」

※各回午後7時～8時30分(途中参加/退出可)

会場は博物館屋上(3階で受付をします)

この夏、平塚市でライトダウン・キャンペーン!

星を見る会が行われる8月17日午後7時から8時30分にかけて、平塚市環境政策課によるライトダウン・キャンペーンが開催されます。これは国が進める地球温暖化対策のための“賢い選択”を促す国民運動「COOL CHOICE」の平塚版「COOL CHOICE ひらつか」の一環事業です。市内の事業所やご家庭に一齐消灯と星空観察を呼びかけることで、地球温暖化や過剰照明の問題を考えるきっかけを提供するこのキャンペーン。不要な照明を消したり、カーテンを閉めて外に光が漏れないようにしたりするだけで、光害を軽減することができます。皆さんもぜひご参加ください。平塚の街でどれだけ星が見えるようになるかは、皆さんのご協力次第です!

なお、博物館で活動する「ひらつか星空調査隊」では、ライトダウンの最中と前とでどのくらい夜空が暗くなって星が見えるようになったかを調査します。こちらはまだ隊員を募集しています。詳しくは博物館ホームページをご覧ください。

この夜景がいったいどのくらい暗くなるでしょうか…ぜひ皆さんご協力を!



夏のプラネタリウム一般投影

さよならカッシーニ

～土星探査機最後の挑戦～

13 年間にわたり土星の調査を続けてきた、土星探査機「カッシーニ」がいよいよグランドフィナーレを迎えます。カッシーニはこれまで、美しい土星の輪や個性豊かな衛星たちを撮影してきました。メタンの海を持つ星や、巨大な山脈を持つ星など、その姿は様々です。中には、生命に必要な条件が整っているとされる星もみついています。番組では、カッシーニの冒険を振り返り、土星の素顔を明らかにします。



土星の輪の内側へ突入するカッシーニの様子 NASA/JPL-Caltech

投影日時：7月22日(土)～8月27日(日)までの水・木・土・日曜日

時 間：午前11時(第2第4土曜日を除く)、午後2時

観 覧 料：200円(18歳未満・65歳以上は無料) 博物館1階受付にて午前9時より当日分の観覧券を販売

定 員：各回70人

プラネタリウム特別投影『オーロラ 生命の輝き』

今この瞬間も、地球のどこかで、
オーロラを見あげている人がいる。

リアルタイムで動画撮影した高精細で臨場感あふれる全天周オーロラ。
極北のツアー客の一人になったつもりで、この贅沢な体験をお楽しみください。

監督・脚本・撮影・編集：クオン・オーチョル

声の出演：坂本真綾 科学監修：上出洋介(名古屋大学名誉教授)

オーロラを取り上げてほしい、と多くの声にお応えして、この夏、特別投影として「オーロラ 生命の輝き」を投影します。地上から撮影された息をのむほど美しいオーロラの映像に加え、国際宇宙ステーションから眺めたオーロラの映像がドームいっぱいにひろがります。オーロラ発生のメカニズムや地球以外の惑星のオーロラなどもわかりやすく解説します。

投影日時：7月22日(土)～8月27日(日)の土・日曜日 午後3時30分～(ただし8月19日・20日を除く)

夏のイブニング・ミュージアム・ウィークの期間中8月1日(火)～8月6日(日)は毎日午後5時から投影します。

(8月5日・6日の午後3時30分の回はありません)

定 員：各回70人

観 覧 料：200円(18歳未満・65歳以上は無料) 博物館1階受付にて午前9時より当日分の観覧券を販売



「微妙な」人気イベント、4年目に突入。…いったい、いつまで続くのか？

プラネタリウム特別投影「館長の星空解説—いつもの星空—」

ユカイな夏の星座たち★

元天文担当学芸員の澤村館長の星座解説です。夏の暑さが吹き飛ぶ!?必殺の定番星空ギャグ。

寒いです!エアコンなしでも寒いです!(博物館職員一同より)

投影日:7月15日(土)

時 間:午後3時30分(所要約1時間)

観覧料:200円(18歳未満・65歳以上無料)

最「凶」の
クールシェア



DëL SoLë プラネタリウム・コンサート ~天の川と月の調べ~

2015年12月以来、1年半ぶり3回目の登場となる音楽ユニットDëL SoLë(デル・ソール)。バンド名の由来となった“太陽”のようにあたたかいしっとりした音楽がプラネタリウムの星空によく似合います。平塚の夏といえば七夕まつり、七夕といえば天の川、ということで、いまが旬の天の川とDëL SoLëが得意とする月をモチーフにコンサートを行います。ふだんはなかなか見ることができない天の川に思いを馳せて…夏の夜空と音楽のコラボレーションをお楽しみください。

演奏予定曲:あの日の月 / 僕ノ空ニ / 星が月に恋をして、月が星に恋をした など



<DëL SoLë>

2006年9月に結成。作曲 & Violin mihō、Drums&Percussion 長谷頼晃の2人組ユニット。バンド名の由来は、ポルトガル語で、delsole(太陽)+英語のsoul(魂)。

今回もサポートゲスト(ギター)にファルコンを迎える。

日時:7月28日(金) (1)午後2時~ (2)午後7時~
(開場30分前)

場所:プラネタリウム室(全席自由席)

申込:往復はがきに行事名・代表者氏名・住所・電話番号・人数(1枚のはがきで3人まで)・希望する回(どちらか一回のみ)を書いて博物館へ申込。
7月15日(土)当日消印有効。

定員:各回60人(応募多数時抽選)

観覧料:500円(18歳未満・65歳以上300円)

[7月のプラネタリウム]

- 定員:70人 観覧料:200円(18歳未満・65歳以上無料)
- 観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。
- 全席自由席です。○投影開始後のご入場・途中退出はできません。

☆プラネタリウム一般向け番組「太陽と星の動き」

投影日時:7月16日(日)までの土・日曜日 午前11時、午後2時(土曜日午前11時を除く)

内 容:プラネタリウムの本領発揮!太陽と星の動きをわかりやすく解説します。

☆プラネタリウム一般向け番組「さよならカッシーニ 土星探査機最後の挑戦」

※詳細は6ページ参照

☆プラネタリウム幼児向け番組「ぼくたち惑星8兄弟」

投影日時:7月15日(土)までの毎週土曜日 午前11時

8月以降の第2・第4土曜日 午前11時

内 容:太陽先生や惑星たちと一緒に、楽しく太陽系の惑星について学ぼう!

※「親子ほしぞらタイム」を7月15日(土)まで実施中。小学生以下のお子さんとご一緒のお父さん・お母さんは幼児向け番組の観覧料が無料。

☆プラネタリウム特別投影「オーロラ 生命の輝き」

※詳細は6ページ参照

☆館長の星空解説「いつもの星空」

※詳細は7ページ参照

☆星空と音楽の夕べ「アルルとカルメン」

投影日時:7月16日(日)午後4時

内 容:ビゼーの代表作、「アルルの女」と「カルメン」を聴きながら、夏の夜空をながめましょう。

7 月				情報	寄贈	特別	ブ
1 土	天体観覧会 流星分科会	科学教室	☆	太陽と星の動き	新着資料展 (民俗・歴史)	堤静夫・眞理子氏 食玩コレクション展	平塚空襲展
2 日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆				
3 月	最新天文学講座「第二の地球とは？」	講堂					
4 火	休館						
5 水							
6 木	古代生活実験室	科学教室					
7 金	展示解説ボランティアの会	講堂					
8 土	聞き書きの会	特別研究室					
9 日	古文書講読会	講堂					
10 月	東国史跡踏査団	野外	☆				
11 火	休館		☆				
12 水	天体観覧会 太陽勉強会	特別研究室					
13 木	平塚石仏の会	野外					
14 金	古文書講読会	講堂					
15 土	お囃子研究会	講堂					
16 日	◎ 夏期特別展 展示解説	特別展示室	☆				
17 月	◎ 館長の星空解説 いつもの星空	プラネタリウム					
18 火	◎ 星空と音楽の夕べ	プラネタリウム	☆				
19 水	天体観覧会 天文学勉強会	特別研究室					
20 木	祝日開館						
21 金	休館						
22 土	裏打ちの会	科学教室					
23 日	民俗探訪会	野外					
24 月	展示解説ボランティアの会	講堂					
25 火	古文書講読会	講堂					
26 水	地域史研究ゼミ	特別研究室					
27 木	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	☆				
28 金	◎ みんなでしらべよう「ひらつか星空調査隊」	講堂					
29 土	天体観覧会 太陽勉強会 初級編	特別研究室	☆				
30 日	天体観覧会 定例会	講堂・屋上ほか					
31 月	休館						
☆: プラネタリウム投影日 ◎: 申込制行事 ○: 参加自由 無印: 年間会員制 ブ: プラネタリウム一般投影 特: 特別展 寄: 寄贈品コーナー展示 情: 情報コーナー展示							
7月の休館日: 3日、10日、18日、24日、31日							
【7月の展示】							
■特別展 (会場: 博物館1階 特別展示室) ◎「川原の石のメッセージー ひろって学ぶ大地のなりたち」 会期: 7月15日 (土) ~ 9月10日 (日)							
■寄贈品コーナー展示 (会場: 博物館1階 寄贈品コーナー) ◎「新着資料展 (歴史・民俗)」 会期: 7月12日 (水) まで ◎「平塚空襲展」 会期: 7月15日 (土) ~ 8月20日 (日)							
■情報コーナー展示 (会場: 博物館2階 情報コーナー) ◎「堤静夫・眞理子氏 食玩コレクション」 会期: 7月17日 (月祝) まで ◎「絵本で見る地球」 会期: 7月21日 (金) ~ 9月10日 (日)							
1 火	◎「不思議な板で万華鏡を作ろう」	科学教室					
2 水	◎ 夏の E.M.W. 講演 「石が語る太陽系の成り立ち」	講堂					
3 木	◎ 夏の E.M.W. 講演 「石碑・石仏に宇宙を探す」	講堂	☆				
4 金	◎ 古代生活実験室	科学教室					
5 土	◎「震源くんをつくろう」	情報コーナー					
6 日	◎ 星を見る会「月と土星を見よう」	屋上					
7 月	◎ 展示解説ボランティアの会	講堂					
8 火	◎ 夏の E.M.W. 講演「川原石の調理実験」	科学教室					
9 水	◎ 聞き書きの会	特別研究室					
10 木	◎ 夏の E.M.W. 講演 「古生物のダイニングメッセージ」	講堂					
11 金	◎ 体験学習「縄文人になろう」	野外 / 科学教室					
12 土	◎ 星を見に行こう! 星空観察入門	プラネタリウム	☆				
13 日	◎ 夏の E.M.W. 講演 「大阪からやってきた石鳥居」	講堂					
14 月	天体観覧会 流星分科会	科学教室					
15 火	◎ みんなで調べよう「セミのぬけがら調べ」	野外					
16 水	◎ 夏期特別展展示解説	特別展示室	☆				
17 木	◎ 夏の E.M.W. 講演「道祖神のゴロゴロ石」	講堂					
18 金	休館						
19 土	◎「貝化石を調べよう」	野外: 大磯	☆				
20 日	◎ お囃子研究会	講堂					
21 月	◎ 夏期特別展記念講演① 「ひろって学ぶ大地のなりたち」	講堂	☆				
22 火	◎ 平塚の古代を学ぶ会	科学教室					
23 水	◎ 天体観覧会 天文学勉強会	特別研究室	☆				
24 木	休館						
25 金	天体観覧会 太陽勉強会	特別研究室					
26 土	◎ 裏打ちの会	科学教室					
27 日	◎ 民俗探訪会	講堂	☆				
28 月	◎「地形模型で地形のでき方を観察しよう」	特別展示室					
29 火	◎ 星を見る会「土星と夏の星を見よう」	科学教室・屋上					
30 水	◎ 展示解説ボランティアの会	講堂					
31 木	◎「共振模型を作ろう」	情報コーナー	☆				
1 土	◎「岩石薄片を作ろう」	講堂					
2 日	◎ 古文書講読会	講堂					
3 月	◎ 地域史研究ゼミ	特別研究室					
4 火	◎ 東国史跡踏査団	野外 / 講堂	☆				
5 水	◎ 平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室					
6 木	◎ 星空と音楽の夕べ	プラネタリウム					
7 金	◎「岩石薄片を作ろう」	科学教室					
8 土	◎ 太陽勉強会初級編	特別研究室	☆				
9 日	◎ 天体観覧会 定例会	講堂・屋上ほか					
10 月	休館						
11 火	◎ 雑貨団シアトリカルプラネタリウム	プラネタリウム					
12 水	◎ みんなで調べよう「セミのぬけがら調べ」	講堂	☆				
13 木	◎ 石仏を調べる会	特別研究室	☆				
14 金	◎ 古文書講読会	講堂					
15 土	◎ 聞き書きの会	特別研究室					
16 日	◎ お囃子研究会	講堂	☆				
17 月	休館		☆				
18 火	休館						
19 水	休館						
20 木	休館						
21 金	休館						
22 土	休館						
23 日	休館						
24 月	休館						
25 火	休館						
26 水	休館						
27 木	休館						
28 金	休館						
29 土	休館						
30 日	休館						
31 月	休館						

あなたと博物館 45 巻 4 号 通算 487 号

発行 平塚市博物館 2200

〒 254-0041 平塚市浅間町 12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>